

連合会長・芳野友子に抗議をたたきつけ 労働組合の力で改憲・戦争をとめよう 闘う労働運動を甦らせよう



以下、たたきつけた抗議文

連合芳野友子会長の国葬出席を徹底弾劾する

私たち東京労働組合交流センター女性部は、連合芳野友子会長の「安倍国葬」出席に対して、徹底弾劾します。

岸田政権の国葬にかけた狙いは、戦争にむけた国作りです。国葬と闘わない事はかつての産業報国会（労働者を戦争に全面協力させるための組織）への道です。芳野連合会長が「労働者の代表として」国葬に出席したことを許さない。出席を認めた自治労中央、日教組中央も同罪です。世界の労働者は自国の戦争に命をかけて闘っています。知らないのか！

安倍元首相がやってきたことは、教育基本法の改悪（2006年）、安保関連法（戦争法）の強行採決（2015年）、森友、加計、桜を見る会など国会を私物化し、「原発事故はアンダーコントロール」として招致されたオリンピックは金権腐敗の実態がさらけ出されています。そして憲法改悪を政治生命とし、労働組合を弾圧し、労働者の働き方改革と称してより劣悪な労働環境、非正規化を推し進めてきたのが安倍政治です。私たちは、この安倍の悪行を絶対に許さない。

芳野会長は政府の「新しい資本主義実現会議」のメンバーとなり、労働者を更なる過酷な労働環境に叩き込んでいます。また、政府のGX（グリーン・トランスフォーメーション）実行委員会にも参加し、原発の新增設や再稼働を打ち出しています。多くの労働組合が原発反対で闘っています。どの立場でGX参加しているのか！ さらに芳野会長は政府の男女共同参画会議のメンバーでもあります。

芳野会長は連合・労働組合を使って、政府の進める政策を労働者に強制していく存在になり下がっています。労働者には、社会を変革していく力があります。労働者の団結、変革する力をみいだせない芳野会長は労働組合の会長でいる資格はない！

芳野友子氏は連合会長になって、「私はガラスの天井を突き破った」と言いました。女性が役職につくことが女性の地位向上か？ 差別からの解放をもたらすのか？ 女性労働者の6割以上が非正規に落とし込まれています。コロナ過、物価高で、生活が苦しい現状だ。この労働者の現状と闘うのが労働組合です。芳野友子氏は、即刻連合会長を辞任するべきです。私たちは連合の翼賛化、腐敗をうち破って闘う労働運動・労働組合を甦させます。

以上申し入れる。

2022年10月19日

東京労働組合交流センター女性部

〒111-0041

東京都台東区元浅草2-4-10-5F

☎ 03-3845-7461